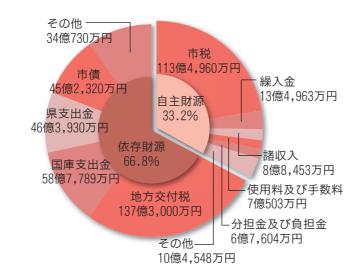
歳入

【歳入予算額内訳】

(単位:万円)

NOW.	八 J 并 识 P J M J			(+10.7313)
	項目	予算額	構成比	増減率
自主財源	市税	113億4,960	23.6%	1. 4%
	繰入金	13億4, 963	2.8%	△45. 9%
	諸収入	8億8, 453	1.8%	△13.6%
	使用料及び手数料	7億 503	1.5%	△1.2%
財	分担金及び負担金	6億7,604	1.4%	75. 7%
源	その問題	6億	1. 2%	140.0%
	他財産収入	4億4, 548	0.9%	515.0%
	小 ≣┼	160億1,031	33. 2%	△0.8%
	地方交付税	137億3,000	28. 5%	△0.1%
	国庫支出金	58億7, 789	12. 2%	△1.0%
	県支出金	46億3,930	9.6%	4. 6%
	市債	45億2, 320	9.4%	△12.7%
	地方消費税交付金	22億6,070	4.7%	20.6%
	地方譲与税	9億1, 768	1.9%	6.6%
依	地方特例交付金	7, 350	0. 2%	△61.2%
存	法人事業税交付金	4, 702	0.1%	皆増
存財源	そ環境性能割交付金	4, 160	0.1%	△6.3%
源	の 配当割交付金	2, 200	0.1%	△0.5%
	他株式等譲渡所得割交付金	1, 440	0.0%	△24. 2%
	交通安全対策特別交付金	1, 300	0.0%	1.6%
	ゴルフ場利用税交付金	1, 110	0.0%	△9.0%
	利子割交付金	630	0.0%	△55. 3%
	自動車取得税交付金	0	0	皆減
	小計	321億7, 769	66.8%	△0.7%
合 計		481億8,800	100.0%	△0.7%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります



▶自主財源・依存財源/市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「依存財源」。▶地方交付税/市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金/事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債/事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金

歳出

【歳出予算額内訳】

(単位:万円)

入関

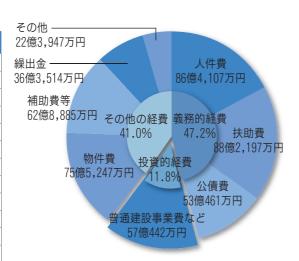
係

【蔵出う	算	額內訳】	(単位:万円)		
		項目	予算額	構成比	増減率
	人件費		86億4, 107	17. 9%	2. 9%
	扶助費		88億2, 197	18. 3%	△0.7%
義務的	公債費		53億 461	11.0%	△0.1%
経費		元金	50億4,877	10.5%	0.8%
		利子	2億5, 584	0.5%	△14.9%
	小計		227億6, 765	47. 2%	0.8%
10 70 16	普遍	通建設事業費	57億 242	11.8%	Δ11.8%
投資的 経費	災害復旧事業費		200	0.0%	0.0%
小工	小計		57億 442	11.8%	△11.8%
	物件費		75億5, 247	15. 7%	3.1%
	補助費等		62億8,885	13. 1%	4. 9%
	繰出金		36億3, 514	7.5%	△4.1%
その他	その他	投資及び出資貸付金	12億 321	2.5%	△11.3%
の経費		維持補修費	9億7,051	2.0%	1.4%
		積立金	2, 575	0.1%	93.8%
		予備費	4, 000	0.1%	0.0%
		小計	197億1, 593	41.0%	1.2%
合 計			481億8,800	100.0%	△0.7%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

*性質別歳出

歳出の経費を人件費や普通建設事業費、物件費など経済的性質で 分類したものが性質別歳出です。このほかに、農林水産業費や教育 費など行政目的で分類した目的別歳出があります。



令和2年度当初予算のあらまし

令和2年第1回市議会定例会で、令和2年度当初予算が審議・可決されました。 本年度の一般会計予算は、481億8、800万円。前年度当初予算比で0.7公の減となっています。 「〜住みたい、住み続けたい 魅力あるイーハトーブはなまきへ〜」を掲げて編成した 本年度予算についてお知らせします。

令和2年度予算の概要

◆ ◆ ◆ ◆ 歳 入 ◆ ◆ ◆ ◆

自主財源の柱である市税は家屋の新築・増築による固定資産税の増加などにより、全体で1.45の増加を見込んでいます。

依存財源の代表的なものである地方交付税は0.1なの減少を見込んでいる一方で、農業団体が実施する生産施設の整備費に対する支援などの増加により、県支出金で4.6なの増加を見込んでいます。市債については、東和コミュニティセンター整備が完了したことなどにより、12.7なの減少を見込んでいます。

◆ ◆ **歳 出** ◆ ◆ **泰** 義務的経費は、会計年度任用職員制度の施行などにより、人件費で2.9〜の増加を見込んでいます。

また、投資的経費では、農業団体が実施する生産施設の整備費に対する支援や、(仮称)花巻PAスマートインターチェンジ整備を見据えた山の神諏訪線の改良をはじめとする生活道路整備事業などを計上しているものの、総合花巻病院の移転整備支援や東和コミュニティセンター整備が令和元年度で完了したことなどにより、普通建設事業費で11.8公の減少を見込んでいます。

令和2年度予算の特徴(抜粋)

特徴 ¶ 将来世代を育む ■ 子育て支援を強力に推進

■出産サポート

昨年9月から実施している助産師などの確保策を継続して実施します。また、産後ケア事業の利用回数を5回から7回に増やします。さらに、県が実施するハイリスク妊産婦への交通費支援に加え、市独自で全ての妊産婦を対象とした交通費の支援を実施します。

■保育環境の充実・保護者負担の軽減

国や県の補助対象とならない市内私立保育園や幼稚園などへのエアコン整備支援を市独自に実施します。また、宮野目学童クラブの増築や、花巻学章クラブ仮移転に伴う建物の借り上げを実施します。さらに、学童クラブごとに実施状況が異なっている、ひとり親またはきょうだい同時入所世帯を対象とした保育料の減額・免除の基準を統一します。

■医療費負担の軽減

中学生医療費助成の現物給付を県内 自治体と同様本年8月から実施しま す。さらに、市内医療機関限定とはな りますが、高校生等医療費助成の現物 給付の実現に向け関係機関と協議して います。

■家族で笑顔

親世帯との同居・近居、生活サービス拠点に住宅を取得した子育て世帯を対象に奨励金の交付を継続します。

特徴 2 インフラなどの整備 継続した取り組みを着実に

■完成事業

道の駅「はなまき西南」の地域振興施設の工事完了を見込んでいます。

また、大迫中学校のグラウンド整備を行い、平成28年度から実施している 大迫中学校校舎改築事業の完了を見込 んでいます。

■着実な継続事業の進捗

道の駅「石鳥谷」の施設再編に向け、 南部杜氏伝承館の曳家を行うなど、本 格的な整備を始めます。

なお、国の補正予算に対応し、当該 事業費の一部を令和元年度予算に前倒 しています。

また、国道4号花巻・北上間の拡幅の実現に向け、引き続き県や近隣市町と共に国へ要望していくほか、市として(仮称)花巻PAスマートインターチェンジの事業進捗を図るための調査や測量、設計などの費用を予算計上します。

さらに、二枚橋地区における産業用 地の整備を進めるほか、令和5年度の 完成を見込んでいる(仮称)花巻PAス マートインターチェンジを見据え、花 南地区における産業団地整備に係る基 本計画の策定および排水路系統調査な どを実施します。

→ 暮らし環境の充実

🤈 安心できる

■公共交通の充実 医療を受けやすく

高齢者や若年者などの市民の交通手段を確保するため、市街地循環バスや 予約乗合バスの運行費支援を継続して 実施します。

また、市内バス交通の結節点である イトーヨーカドーバス停留所の待合室 整備に係る設計を行うほか、市街地循 環バス・星めぐり号の車両を更新しま す。

さらに、路線バス・大迫石鳥谷線を 利用する高校生を対象とした通学定期 券購入補助を実施。高校生の保護者の 負担軽減と、利用が減少している同バ ス路線の利用者の増加を図ります。

岩手医科大学附属病院の矢巾移転に合わせて実施している花巻駅、石鳥谷駅と同附属病院の連絡バスを引き続き 運行します。

公共交通が整備されていないなど、 通院が困難な高齢者の通院交通費を助 成するため、福祉タクシー制度の拡充 を検討します。

■福祉の充実 地域での支え合い

障がい者が安心して暮らせるよう地域生活拠点などを整備。グループホームの体験機会の提供や、介護者の緊急時に対応できるショートステイによる受け入れ体制の実現に向けた検討をします。

⑤ 2020(R2),4.1